

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 りとむ・まむ			
○保護者評価実施期間	2025年8月18日		～	2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2025年8月18日		～	2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月24日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・主として、身辺自立が確立できるようにルーティンとして積み重ねているので、そのうち、自然と自己の活動として、理解できてきている事・動作も多々ある。	・来所時からのタイムスケジュールを明確化にし、一連の作業として、繰り返していることで、スムーズに頭に入って行く。	・個人活動や集団活動でもお互いを理解しながら、行動できるように繋げて行く。
2	・子どもたちは、毎回、音楽リトミックに参加することにより、リズム感・歌詞を覚える。そして、身体を動かし、それを表現することにより、協調性・個性・感性を育むことが、できている。	・繰り返して取組む曲、子どもたちの希望によって取組む曲など、変化を加えて、自己発信力や積極性を養っています。	・子どもたちからの提案も求め、意欲を持って、活動時間を有効に過ごせるようになる。それらが、達成感にも繋げられるように動機づけしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児の保護者様同士の交流会等が図られていない。	・昨年・今回のアンケートの結果でも保護者の中には、他の利用児の保護者様との交流を好まない方も数人いらっしゃるのことで、事業所としては、なかなか、実行には踏み切れなかった課題でもある。	・いきなり、事業所全体の交流会ではなく、顔見知りの方等の少人数からのお話し会などを試みて、ご家庭での悩みの解決の糸口等を探ったり、共鳴できる事案で、安心感などを持ってもらえるような取組も試みていくのも第一歩かと思われる。
2	・職員のスキルアップの為の研修会参加等の時間が、取れていない。	・職員の数が定まっていない時期等があり、療育に支障のない時間帯に参加するのが、困難であるため。	・今後は常勤職員を主体として、まずは、OJTから、充実して学べる機会を作り、ひいては、非常勤職員との連絡を密に事業所全体で、スキルアップに取組んで行く。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 りとる・まむ

公表日 2025年10月29日

利用児童数

9名

回収数

7名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0	送迎が、一人の時は少し不安です。	児発の送迎は、一人一人の特性を考慮して、添乗の配置は、心がけています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	2	0	0	平日は固定していますが、ルーティンとして良いと思います。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	0	0	3		保育所等や地域での交流については、その適切な方法がまだ構築できていないので、いろんな案や方策を検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	0	0	3		今後は、家族支援プログラムについての研修会や情報提供できる機会を開催できるように事業所内でも職員のスキルアップを試みます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	1	3	・家族交流はいいです。 ・無い方が良いので、今のままが有難いです。	今回のアンケート結果で、ご意見を頂き、開催の方法を考慮する必要がある課題ですので、慎重に検討します。	
19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援 りとむ・まむ	公表日 2025年10月29日
------	---------------	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	現在の利用児は、小学生以下の児童だけなので、現在の広さで足りている。また、療育を行うフロアに障害物がないように工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	療育室のジョイントマットをフローリングワイパーなどで、常に清潔に保つようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	必要な場合は、適時、個室として空間を区切るような工夫を凝らしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	3		職員の個人単位では、速やかに対応しているが、今後は、全体的で共有できる時間を作る。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3		業務改善に繋がるよう今後、職員間で周知していけるようにする。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		現在は、まだ、第三者による外部評価を行ってもらっていないが、今後は、事業所内の構築を深め評価をしてもらえるようにしたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	4		上記同上、職員のスキル向上のための研修会や勉強会の機会を作っていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	インターネット上で、公開されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	2		常勤・非常勤に関わらず、周知できる方法を考える。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2		その子・その子の特性を把握し、作成しているが、非常勤職員も含め、全体で認識できるようにしていきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	3		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	4		日々のアセスメントをしていない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		支援計画には書かれているが、スタッフのひとりも支援計画を確認しているのを見たことがない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3		各職員に対して、立案を提示し、意見を聴きながら、適切な活動プログラムを決定するようにする。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	イベントや企画などを行っている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3		大まかな流れや担当などの打ち合わせはできているが、チームの連携としては、うまく機能していないので、各職員のスキルアップを図っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		支援内容についての振り返りは、各職員とは行っているが、全体に共有できる体制作りを考え実行する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	3		記録を詳細にとるように心がける。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		定期的に何名かは、モニタリングを行っているが、適切な見直しは行っていないように見える。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	多様な遊びや体験活動は行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		地域の保育・教育機関との連携が、現状では希薄な部分も否めないため、こちらからの積極的な関係構築も試みていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4		全ての利用児の併行利用先との情報共有の機会を得ることができていないので、こちらからもコンタクトが取れるようにしていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		現在は、連携を図れる状態にはないので、まずは、連携が取れるような糸口を見つけて、機会を作っていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		公園などで、他児童と同じ空間で過ごすことはあるが交流はない。児童によっては遊具の譲り合いをする場面は見られる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	随時、保護者様とは、日々の過ごし方や課題があれば、連絡帳や急ぎのことは、話し合いを積むようにしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		ペアレント・トレーニングについて、事業所内で、研修の機会を図ってみて、家族に対して、研修の機会を実行する。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	必ず、契約時に時間を費やし説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	6か月に一度、その期の支援計画をお伝え、保護者様の意見を聞き、そのことを反映し作成している。また、次期は、いつ頃に来ていただく目安を伝えるようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	2		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者同士の交流の機会をまだ設けていない。現在、参加を好まない保護者もいらっしやらないので、どのような開催が、適切なのか、検討をする必要がある。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	職員が、送迎時に伺ったことも速やかに報告する体制を取っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月、行事予定を配布、SNSも活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	職員には、常に周知している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		地域住民の方々に対して、告知できるような方法を習得していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	定期的に行なえるように年間スケジュールに組み込むようにしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	利用が、決定したときは必ず確認するようにしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	3		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	2		非常勤職員に対する研修の機会が、あまり、取ることができていない。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2		現在該当する利用児はいない。	